

vol.88

July 2019

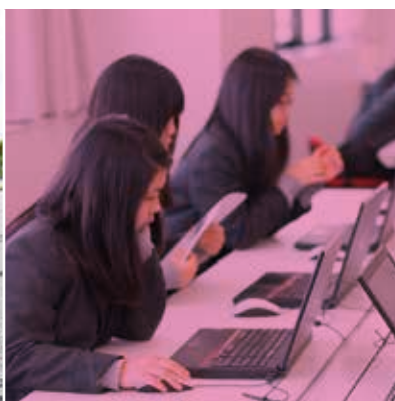
学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

# TOPOS

[特集]

新元号スタート

令和は私たちが輝く時代



新元号スタート

# 令和は私たちが輝く時代

誠実



人間科学部心理学科 4年  
中野 宏紀

## 誠実に取り組む姿勢が自分と人を変えます

高校時代、どう生きるべきかを悩み、たどり着いた答えが何事にも誠実に取り組むことでした。今、僕は受刑者の更生を支援する矯正心理専門職になるために大学院進学を目指しています。人の心を動かすのは誠実さ。その思いを胸に自分の道を進んでいきます。

充実



看護学部看護学科 1年  
池田 実鈴

## 大学生活を充実させて看護師を目指します

大学生活に全力で取り組み、充実した毎を送りたいと思っています。病院実習では、看護師さんの仕事ぶりを見て「私も患者さんを元気にする看護師になりたい」と夢が明確になりました。時々ダンスサークルでリフレッシュしながら、100%充実を目指します。

果断



総合政策学部経営学科 3年  
鈴木 宏汰

## 果断な実行力を持って新しいことにチャレンジ

何事にもためらわず、新しいことにチャレンジできる自分でありたいと思っています。令和元年の僕の挑戦はときわ祭実行委員長！今年は広報に力を入れて、地域の方々をたくさん呼び込みたいと考えています。直感を信じて、果断な実行力で前進します。

常磐大学

学校法人常磐大学

理事長 小櫃 重秀

## 生徒・学生が世界に飛躍できる教育の場を

このたび令和という新たな時代に突入しました。変わりゆく時代に大きく飛躍するには「今の時代を知り、世界を知り、他者を知り、未来の豊かな自分を思い描き、そこに向かって努力する」姿勢が求められます。本学の教育を通じて、そのことを生徒・学生に伝え、さらに「自分の人生と他者の人生をどちらも大切にすることを育んでいきたいと考えています。

本学の魅力は、各校が密につながる総合的な教育機関で、また長年の伝統から地域社会との絆も深いことです。世界で活躍できる人を育てるには、多様な価値観を学び、多くの人と関わっていく環境が重要と考え、さらに各校、地域との関わりを充実させていきたいと考えています。

主役は生徒・学生の皆さん一人ひとりです。私たち教職員は皆さんの個性や能力を最大限引き出すサポート役となって、それぞれが人生において大きく飛躍できる教育を実現していきます。

飛躍



自分を確立することが飛躍の原動力

揮毫: 智学館中等教育学校 書道部 小松崎 映穂(4年次)「誠実」「充実」「果断」「飛躍」

平成が終わり、令和の新たな時代が幕を開けました。令和時代を私たちはどう生きるか——各校の生徒・学生、昨年度、本年度に就任した理事長・学長・学校長・園長に自らの信念となる言葉を掲げていただきました。



キャリア教養学科 1年  
船原 芽

### 大学での交流を通じて 自分を成長させたい

自分の世界を広げたくて、常磐大学国際交流会館に入寮しました。世界中から集まった留学生との交流は、毎日が驚きと発見の連続。自分から積極的に話しかけることで、交流の輪が広がりました。大学ならではの出会いを大切に、自分を成長させたいです。



## What's 令和?

令和は、万葉集にある右記の文言から引用したものです。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。英語で表現するならば、beautiful harmony(美しい調和)となります。

蘭	梅	気	初
は	は	淑	春
は	鏡	く	の
珮	前	風	令
後	の	和	の
の	香	粉	今
香	を	を	に
を	薫	披	し
す	す	き	て

(万葉集より)



毎日どこかに  
成長の種がある

常磐大学幼稚園  
園長 酒巻 洋一

### 一日を大切に生きることが教育の出発点

夢中になって遊び、学ぶ園児たちの姿を見てると、一日一日の小さな変化に、成長の萌芽があると気づかされます。そして何気ない日々の中にこそ、新しい創造につながる発見があるのです。一日を大切に生きることが教育の出発点と考えて、この言葉を選びました。

本園では園児たちに実り豊かな一日を提供するために、米づくりや緑あふれるキャンパスの探索、造形、音楽などさまざまな体験教育に力を入れています。また、常磐短期大学幼児教育保育学科、常磐大学人間科学部教育学科と連携して、さまざまなプログラムを提供し、子育て相談などにも応じています。子どもの持つ無限の可能性を引き出すには、私たち教育者が子ども一人ひとりに丁寧に真摯に向き合うことが大切です。さまざまな体験を通じて、子どもの創造性や個性を引き出す教育を実践していきたいと考えています。



大学は「一心」に  
出会える場所

常磐大学・常磐短期大学  
学長 富田 敬子

### 一心の取り組みが未来への道を拓く

私の信念を表す「一心」という言葉があります。この言葉には「心を一つのことに集中させること」、そして「多くの人が心を一つにすること」という二つの意味があります。皆さんは令和時代の主役ですが、何かを成し遂げるためには、そこに近道はなく、コツコツと地道な努力を重ねることが肝要です。さらに、学校生活で志を同じくする人々と協働することでより大きな力を生み出せることを学び、未来を切り拓いてほしいと思います。

今後、私たちの地域においてもグローバル化は進んでいきます。令和に込められた「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味は、まさに日本人が育んできた美徳であり、世界に通用する素晴らしい価値観です。こうした協調の精神に加え、学生個々の自主性や発信力を伸ばし、地域社会の発展に貢献できる人材の育成に努めていきたいと思っています。

揮毫: 智学館中等教育学校 書道部 小松崎 映穂(4年次)「交流」「日々」「一心」



特進選抜コース 2年

岡田 花奈

**笑顔のパワーで  
みんなを元気にしたい**

笑顔は自分も周りの人も幸せにするパワーがあります。常磐大学の留学生がやってくるEC(English Connections)では、笑顔と得意の英語で楽しみました。私の将来の夢は、英語教師です。大学では英語を専攻し、先生たちのような厳しくも優しい先生になりたいです。

進学コース 1年

澤野 愛萌

**精進の精神で、  
自分の限界を突破!**

高校受験で自分の力を出し切るために掲げていた言葉です。高校に入ってからその心を忘れずに、勉強やスポーツに本気で取り組み、自分の限界を超えていきたいと思っています。将来の夢は人を感動させる仕事!今、この瞬間に全力で打ち込み、精進します。



特進コース 1年

鹿島 望夢

**勉強と部活を両立し、  
高みに挑戦します**

高校に入って勉強や部活の環境が一変し、新たな挑戦の真っ最中です。中学から続けているサッカー部のレギュラーになって、仲間と関東大会を目指すこと、そして勉強も両立してクラストップを獲得し、体育教師を目指します。



継続力で自分を  
超えていこう

常磐大学高等学校

校長 柴田 幸義

**「考え 挑み続ける」精神で未来は拓ける**

継続は目標達成の必要条件です。私はマラソンに夢中になった学生時代に毎日、練習日記を書いていました。今でもその習慣は維持しており、日々の出来事を日記に書き続けています。日記を書くことは「昨日の自分を超えていく」ことにつながります。皆さんも自分の興味があることをコツコツと続けてみましょう。そこから自分の得意分野や自信は育まれるはずです。

これからの時代、正解のない問いに挑まなければならない社会になるといわれています。何が正解なのかを自分で考え、答えを見つけられる人を育てるために、本校では「考え 挑み続ける」ことを生徒の皆さんに求めています。毎年新学期から、3年生一人ひとりに「今どんなことを考えてますか?」「将来は何をしたい?」「それはなぜ?」など問いかける面談を実施しています。答えを急ぐ必要はありません。考えることを諦めない、考え続けることで、皆さんの未来は確実に拓けていくはずですよ。

揮毫:常磐大学高等学校 書道部  
石井 美宇(2年)「笑顔」 宮澤 伊吹(3年)「精進」 園部 愛実(2年)「挑戦」 箱田 恭子(2年)「継続」



3年次  
鈴木 連汰朗

### 国際弁護士目指して 実行力を高めたい

学内外で活躍する先輩たちに倣って、ボランティアや地域活動、インターンシップなどに挑戦していきたいと考えています。将来、国際弁護士として世界で活躍するために、さまざまな活動を通じて実行力を身に付けていきたいです。もちろん英語も頑張ります！



6年次  
浅倉 美幸

### 薬剤師になるために 受験勉強に邁進中！

将来の夢は薬剤師。第1志望を目指して受験勉強に邁進しています。きっかけは家族の抗アレルギー薬の処方でお世話になった薬剤師さん。患者さんに優しく寄り添える薬剤師になりたいです。化学の授業で使った白衣を着て、将来のイメージを膨らませています。



1年次  
茂垣 千花

### 友達は、私の宝物。 6年間友情を育みたい

これから6年間一緒に過ごす友達を大切にしたいと思い「友情」を選びました。入学時は、友達ができるか不安でしたが、最高の友達ができ、勉強に吹奏楽部にテニス部にと、毎日充実しています。休み時間に友達とワイワイ話すとかが一番楽しい時間です。



考える習慣を  
つけよう

智学館中等教育学校

校長 吉武 政治

### 自分自身の確固たる「考拠」を持つこと

天皇陛下が即位されて「皇居」にかけたわけではありませんが、学校が「考える拠りどころ」を見つける場所になってほしいという思いから、この言葉を掲げました。世の中が大きく変わるこれからの時代において、自ら考えて答えを導き出せる力を育むことこそ、本学の建学の精神である「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」が求めるものです。

本校では6年間じっくり時間をかけて、実践的な英語、対話によるコミュニケーション能力や表現力、論理的思考力を育てていきます。特に英語教育は開校以来、力を入れており、昨年度ユネスコスクールの認定を得て、今後は欧米先進国に加えアジア地域の学校との交流や研修を広げていきます。多様な価値観が入り混じる世界で活躍するには、自分自身の確固たる「考拠」を持つことです。ぜひ学校生活のさまざまな体験を通じて、自分で考える力を養い、新しい時代を切り拓く人に育ってほしいと思います。

揮毫: 智学館中等教育学校 書道部 小松崎 映穂(4年次)「実行」「邁進」「友情」「考拠」



## 京成百貨店で国際学部経営学科3年生による 産学連携の商品販売促進イベント大盛況！

1月5日・6日、国際学部経営学科の3年生が水戸京成百貨店で産学連携の商品販売促進イベントを行いました。「ビジネス専門演習」の授業の一環で、昨年4月から企画立案や百貨店担当者へのプレゼンテーションなどの準備を進め、晴れて当日を迎えました。イベントの目的は企業の利益構造（ビジネスモデル）の理解を深め、分析力・判断力・企画力・創造力を養うこと。さらに企業利益を考慮し、売上に貢献することも課題の一つです。今回の企画は、京成百貨店内のファッションブランドを使ったコーディネートを紹介する「茨城京成コレクション」、アロマワックスバーとタオルアートづくりを体験できる「アロマ動物園～アロマで癒しを、タオルでワクワク」。各売り場の担当者と、昨年経験した4年生の意見を取り入れながら、チーム一丸となって目標を達成し、イベントは成功を収めました。京成百貨店での取り組みの詳細は『2018年度 ビジネス専門演習報告書』の商業・マーケティング分野に掲載されています。この冊子には経営・マネジメント分野、財務・会計分野における学生たちの学びのプロセスと成果が掲載されています。報告書に興味のある方はアドミッションセンターまでお問い合わせください。



## News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。  
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず  
さらなる広がりを見せています。  
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



## 人工芝グラウンドの完成セレモニーで 大学と高校のサッカー部がキックオフ

5月26日、見和キャンパスに完成した人工芝グラウンドの使用開始を記念してセレモニーが行われました。富田敬子学長の挨拶に続き、水戸ホーリーホックの沼田邦郎社長より激励の言葉をいただき、各団体（大学サッカー部、高校男子サッカー部、高校女子サッカー部）の代表からは、今後の抱負が語られました。その後、グラウンドでは記念キックオフ記念試合（大学サッカー部 VS 高校男子サッカー部）が行われ、選手たちは人工芝の感触を確かめながら、力強いプレーを披露しました。





## 「利用しやすい投票所」に創意工夫 期日前投票所を本学学生が運営

4月16日、水戸市長選挙・水戸市議会議員一般選挙の期日前投票所が本学キャンパス内に設置され、総合政策学科砂金祐年准教授ゼミナールの3、4年生12人が運営に携わりました。水戸市選挙管理委員会より委嘱を受けて実施しており、今回で5度目。学生や教職員はもちろんのこと、地域住民の皆さまにも利用されています。学生は事前からチラシによるPR活動を行い、当日は併設したラウンジでBGMを流し、ウェルカムドリンクで投票に訪れた方々をもてなしました。また、子ども連れで来られた方のために、ぬいぐるみや絵本を用意した簡易の託児スペースも設置。学生たちの奮闘の甲斐あって、前回の選挙（茨城県議会議員選挙：131人）を上回る174人の利用がありました。投票に来た学生からは「授業の前に行けるので便利。友達と誘い合って行けるところも選挙に参加しやすい」との声、さらに近隣にお住まいの方からは「投票後にくつろげるスペースがあっとうれしい。また利用します」とのお声をいただきました。



## 「水戸市女性議会2018」で市議会を体験 本学女子学生が市長に代表質問

1月18日、総合政策学科の正木聡教授、砂金祐年准教授、元木理寿准教授のゼミナールの学生が「水戸市女性議会2018」に参加しました。政策決定過程の場を体験することで、市政への女性参画拡大のきっかけとするもので、2016年度に続き、2回目となります。議会では、常磐大学と茨城大学の学生各14人が市議会議員役となり、新しい水戸市役所にある市議会議場の議員席に着席。女子学生6人（各大学から3人ずつ）が代表質問に立ち、高橋靖水戸市長らに市政についての質問をしました。本学からは、災害時における避難行動要支援者への対応や市民への情報伝達手段（千葉碧さん）、水戸市の下水道の現状と課題や下水道接続に関する方策（植田俊美さん）、水戸市の小中学校における「旅育」の導入への取り組み（小林美友さん）についてそれぞれ質問し、具体策の提案も行いました。代表質問にあたっては数カ月前から資料を収集し、水戸市の関係課にヒアリングするなど入念に準備を行いました。行政の仕組みや議会の活動を理解し、市政をより身近に感じられる貴重な経験で、女性を中心とした若者視点のまちづくりを水戸市に提案することができました。



水戸市女性議会2018  
平成31年1月18日



## 自然・文化・歴史を体験する沖縄修学旅行と 大学見学&ミュージカル鑑賞で、大満足！

3月6日～11日にかけて、2年生は3隊に分かれ3泊4日の日程で沖縄県に修学旅行に行きました。1日目はひめゆりの塔と平和祈念公園を巡って平和について学習し、2日目は自然体験と民泊を行いました。3、4日目は、班やクラスごとに沖縄の文化に触れました。生徒たちにとって、新たな学びと感動に溢れたかけがえのない思い出になりました。1年生は3月8日、都内を中心とした大学キャンパスの見学と劇団四季の『アラジン』を鑑賞する校外学習を行いました。大学のアカデミックな雰囲気に触れたり、大迫力のミュージカルに感動したりと、充実した校外学習の一日となりました。



## 自学自習や農業体験などを通じて 級友との絆を深める「新入生宿泊」

4月23日～25日、2泊3日の日程で新たな学校行事である新入生宿泊を行いました。自分で計画して取り組む自学自習の時間を設け、智学館の生徒としてふさわしい学習態度や生活習慣を身に付けるのが目的です。さらになめがたファーマーズヴィレッジでの農業体験とスイートポテトづくり、JICA筑波で青年海外協力隊の方の体験談を聴くなどして知見を広めました。体験後はそれぞれ感じたことを級友と共に話し合い、共に考えました。生徒、教員が触れ合い、学級の一体感とより良い人間関係をつくることができました。



## 初めてのボルダリング遊びに 年長組さん、無我夢中！

4月の下旬、幼稚園の遊戯室にボルダリングウォールが設置されました。平均台を渡ったり、跳び箱によい登りジャンプしたり、アーチ型のはしごを渡って滑り台をしたりする遊戯室の遊びに、「ボルダリング遊び」が新たに加わり、楽しみがさらに広がりました。ボルダリングは登るルートによって難易度が異なり、自分のスキルに合わせて登り進めることができます。早速、年長組の子どもたちが初めてのボルダリングに挑戦。頂上にたどり着いた園児には、見守っている園児から拍手喝采が送られました。思い思いの登り方でチャレンジできる「ボルダリング遊び」。今後は年少、年中組の園児も、無理のない範囲でそれぞれの目標に向かって挑戦していきます。





## 集まれ！幼児教育保育学科の卒業生 ホームカミングデーで母校を訪問

2月17日、学生ホールにおいて常磐短期大学幼児教育保育学科2017年度卒業生のホームカミングデーを開催しました。李精副学長、福田洋子学科長の挨拶の後、卒業生と教員による歓談が行われました。鈴木範之准教授による手遊びの出し物では卒業生、教員が全員参加し、在学中の授業を彷彿とさせるような楽しいひとときを過ごしました。2年間共に頑張ってきた仲間や教員との再会に自然と笑顔があふれ、温かな雰囲気になりました。



## 特進選抜コース1年生、海外研修へ。 さまざまな課題を乗り越え、大きく成長

3月18日～29日、特進選抜コース1年生がオーストラリアでの海外研修を行いました。シドニーのマッコーリー大学を拠点に、語学研修や日系企業・博物館訪問、現地校との交流などを実施。異文化理解や国際社会で活躍する上で必要な視野やスキルを育成するプログラムを経験しました。今回の研修を通して、生徒たちは海外で直面するさまざまな課題を自ら乗り越え、大きく成長することができました。



## 「夜・梅・祭 2019」で常磐大生プロデュース 夜梅おみくじ1,000セットが完売御礼！

3月9日、偕楽園で開かれた「夜・梅・祭 2019」(水戸の梅まつり実行委員会主催)で、TSSボランティアTRICOLORの学生が「夜梅おみくじ」を販売しました。参加は今年で8回目。おみくじの企画・制作から販売まですべて学生が行います。今年のプレミアムグッズは、梅をモチーフとしたストラップ。水引と梅の2種類を作製し、千代紙袋のおみくじを付けて約1,000セットを販売。学生が丁寧に接客し、2時間で完売しました。コミュニティ振興学部地域政策学科4年の清水敦也さんは「お客様から今年も買いに来たよと声を掛けていただき、大きなやりがいを感じました。今回で学んだ、人との関わりの大切さをこれからの人生に生かしたいと思います」と語りました。



## 新入生歓迎セレモニーで 上級生から新入生へエール

4月9日、第1体育館で「新入生歓迎セレモニー」が行われました。2、3年生が待ち受ける会場に、担任を先頭に新入生337人が緊張した面持ちで入場。在校生を代表して生徒会長から「高校3年間存分に楽しんでください」というエールが送られると、新入生代表は入学の喜びと高校生活への希望の言葉で応えました。また、1年生の各クラスには、3年生から観葉植物(ペペロミア)が贈呈されました。教室の片隅で1年生の成長と友情を見守り、生徒たちと一緒に大きく育ってくれることでしょう。



## 「噛むかむレシピコンテスト」で 健康栄養学科学生の地元食材レシピが受賞

2月3日、茨城県歯科医師会が主催する「第8回噛むかむレシピコンテスト」で、人間科学部健康栄養学科2年の和田千遥さんが、噛むかむレシピ賞(一般の部)を受賞。噛む大切さや口腔の健康づくりを啓発するために行われるコンテストで、美味しさはもちろん、噛む回数も審査基準に含まれます。今年のテーマ食材は、茨城県でも生産量の多い「ニラ」。和田さんが考案したメニューは薄くスライスしたレンコンを皮にした「にらたっぷりれんこん餃子」。ニラの風味とレンコンの歯応えが高く評価されました。このコンテストへの応募は健康栄養学科の授業と連動しており、毎回多くの学生が趣向を凝らしたアイデアレシピを提案しています。



## 高校生活最後、部活動の集大成へ！ 高校総体壮行会で、必勝を誓う

5月8日、第1体育館に全校生徒が集まり、高校総体の壮行会が行われました。柴田幸義校長や生徒会長から激励の言葉が伝えられると、部活動のユニフォームを着た部員たちが登壇。各部の部長から試合日程・会場の告知とともに、高校総体に向けての目標や抱負が語られました。3年生にとってはこれが高校最後の集大成となる大会です。悔いのないプレーができるよう、全力で頑張ってくれることを期待しています。







## 豊かな未来は僕らがつくる！ 6年一貫の探究学習(PBL)が進化

自分自身や社会について知り、豊かな未来を想像・創造する「探究学習(PBL)」がさらに進化しました。PBLは実社会の中から問いを見つけ出し、情報を収集・分析して、自分なりの主張を組み立てる課題発見・解決型の取り組みを、1、2年次生にも展開しています。近隣の緑地でのフィールドワーク、世界の貧しい子どもたちのために教育資金援助をお願いする手紙を日本政府に送るなどさまざまなアクションを実践していきます。ユネスコスクールの一員である智学館の生徒として、世界に視野を広げ、自分たちができることから積極的に行動を起こしていきます。



## 生徒が学校生活をつくり上げる「生徒総会」 2019年度の生徒会が始動します！

4月27日、West Gymで、生徒総会を行いました。生徒会役員が中心となって準備を進め、2018年度の事業報告、決算報告、そして2019年度の事業予定、予算案などについて話し合い、すべて賛成多数で可決されました。この行事をもって2018年度生徒会が任期を終え、2019年度生徒会へバトンが引き継がれました。新たな生徒会のもと、これからもより良い学校づくりのために生徒が主体的に行動していきます。



## 県内ナンバーワンを目指して 硬式テニス部、令和元年も好調のスタート！

硬式テニス部は前・後期課程生の男女28人が合同練習し、毎年大会にエントリーしています。後期課程生は、平成31年度関東高等学校テニス大会水戸地区予選会で男子が団体・ダブルスともに優勝、県大会では団体でベスト8となりました。前期課程生は、平成30年度茨城県中学生新人テニス選手権大会で、男子はダブルス第3位、団体・シングルともにベスト4、女子はダブルスベスト16に。令和の時代、さらに飛躍すべく頑張っていきます。



## 年中さんが年少さんをおもてなし ごっこあそび充実の「年少・年中交流会」

2月に年中組の保育室で「年少・年中交流会」を行いました。この日のために心を込めてさまざまな品物をつくり、自分たちで陳列し、年少さんが遊びに来るのを心待ちにしていた年中さん。年少さんもおにいさんやおねえさんに会うのを楽しみにしていたようです。年中さんがお店番をして、年少さんがお買い物スタート。家族へのお土産を買ったり、ゲームセンターごっこや宇宙戦隊トキワレンジャーごっこをしたりして、思い思いに楽しみました。年少さんのニコニコうれしそうなお表情や、年中さんがはりきって年少さんに優しく接している様子が微笑ましい光景でした。



## 梅の香りに誘われて—— 春を見つける「おやつピクニック」

梅の花も満開を迎えた3月中旬、年少組はおやつピクニックにお出かけです。みんなで輪になり、おやつを食べたり、自由に遊んだり。子どもたちも「うめがいいかおりがするね」「ゴロゴロするの、たのしい〜!」と、春の訪れを感じながら、楽しいひとときを過ごしました。また一つ、年少組での楽しい思い出が増えました。



## 遠足でアクアワールド茨城県大洗水族館へ 世界や茨城の海の生き物に大歓声

年少さんの春の親子遠足で、アクアワールド茨城県大洗水族館に行ってきました。天候に恵まれた遠足日和。一日お家の方と一緒にということもあり、笑顔で登園してきた子どもたち。カラフルな色のお魚や、ユニークな形のお魚、鮮やかな芸をするイルカ・アシカショーを見て大満足でした。お昼は、お家の方が作ってくれたお弁当を仲良く食べました。教員も、保護者の方や子どもたちとお話ができ、親睦の深まった一日となりました。





# Eye on Faculty

## 研究を進める先生に注目!

常磐大学に在籍する多くの教員。  
講義担当としてはもちろん、さまざまな専門分野の研究にも携わっています。  
そんな学内外で指導、研究を続けている教員の魅力に迫ります。



村井文江 教授 看護学部長

常磐大学 看護学部教授

専門:母性看護学、助産学

筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻修了。  
所属学会は、日本思春期学会、日本母性衛生学会、日本看護科学学会等。

### 女性の健康をテーマに、 多岐にわたる研究に挑戦する。

「女性の健康」をテーマにした研究に従事し、現在は「ITを活用した  
高校生のデートDV予防支援プログラム」を中心に研究開発に取り組む  
村井文江教授。助産師時代に数々の出産の現場に立ち会ったことで、  
「女性が健康に生きるための研究がしたい」と研究者の道を志し、看護  
や医療分野に貢献する数々の成果を上げてきました。現在は、常磐大学  
看護学部長として、新しい時代のニーズに応える看護教育を確立する  
ためにも尽力しています。自身の研究への思いと、教育者として看護職  
養成にかける思いを伺いました。



高校生のデートDV予防サポート「withYOU」  
URL: <https://tkws.jp/tokiwa/withyou>  
運営: 常磐大学デートDV予防研究会

# Eye on Books

大学・短期大学の教員が執筆したさまざまな分野の著書をご紹介します。

### 司法・犯罪心理学

公認心理師の基礎と実践19

人間科学部 教授 寺村 聖志



岡本吉生 編  
2019年3月 遠見書房

公認心理師制度の創設・始動に伴い、公認心理師として司法・犯罪領域で活動したり、同領域と連携・協働を図ったりする際に必要な基礎知識や心理支援の実際をまとめた入門書です。

### 子どもが育つ遊びと学び

保幼小の連携・接続の指導計画から実践まで

人間科学部 准教授 佐藤 賢一郎



高櫻綾子 編  
2019年4月 朝倉書店

保幼小の連携と接続をテーマに、乳幼児教育から小学校教育までを幅広く学ぶことができます。第3章「3歳以上見からつなく保幼小の連携・接続」を執筆しています。

### 読みたくなる「地図」国土編

日本の国土はどう変わったか

総合政策学部 准教授 元木 理寿



平岡昭利 編  
2019年3月 海青社

日本人がどのように国土を改変してきたのかについて、34の地域を対象に明治時代と現代の地図の「時の断面」の比較から読み解いています。「霞ヶ浦・利根川下流」を担当しています。

Q 思春期のデートDVの研究を始めた理由を教えてください。

A 女性の健康について研究を進める中で近年、10代の間で増えている「デートDV」の問題に直面しました。

私は看護学部で学び、卒業後は助産師として臨床に携わりました。妊婦さんの産前産後ケアをするうちに「女性が健康に生きるための研究がしたい」と考え、20代半ばで研究の世界に飛び込みました。これまでの研究テーマはスポーツと月経、母乳、赤ちゃんを亡くしたお母さんのグリーフケアなど多岐にわたります。さらに小中学校で性教育教室を長年行ってきましたが、10代の間で「デートDV」の理解と予防が十分でないことに気づきました。デートDVとは若いカップルの間で起こる暴力ですが、性行為の強要や身体的暴力だけでなく、友達との交際を制限する、スマホを盗み見る、言葉で傷つけるなども当てはまる場合があります。交際相手の言動によって自分を否定したり、行動をコントロールされてしまうこともデートDVなのです。子どもたちが自分の心と体の健康を守るようにする教育環境を整えたいと考え、2016年から予防支援プログラムの開発を始めました。

Q 研究者としての目的とは？

A さまざまな角度の研究から、性別の違いをより明確にして女性が生きやすい社会を実現したい。

私の専門は母性看護学と助産学なのですが、「女性の健康」という大きなテーマのもと、興味のおもむくまま幅広く研究してきました。女性と男性とでは体の構造や生理機能が異なりますし、女性は月経、妊娠、出産、閉経など、年齢に応じて心身ともにさまざまなターニングポイントに直面します。しかしながら、男女の差異を平準化してしまっ、「ヒト」と単純にひとまとめに扱っている傾向があります。例えば、医学や看護の教科書などで登場する「成人」のさまざまな数値においても、男性が基準であることが少なくないです。研究を通じて性別による違いを明確にしていくことで、より適切な医療やケアが実現できるのではないかと思います。そのために、女性ならではの健康問題をさまざまな角度から研究し、女性が健康でいきいきと生きるための知識やヒントを世の中に発信していくことを目指しています。そのことが多様な性の健康につながり、ひいては個々人がその人らしく生きることの実現に寄与できると考えています。

Q デートDV予防のための支援システムとは？

A 皆さんが気軽に見られるサイトを通じ、デートDVへの理解と知識を浸透させ、子どもたちのヘルスリテラシーを高めます。

デートDVは、被害者・加害者共に自覚しにくく、相談システムが十分活用されていないという課題があります。そこで常磐大学デートDV予防研究会を立ち上げ、WEB上に情報サイトを構築し、その効果を検証しています。サイトにはデートDVの解説やチェックリスト、相談窓口などがあります。皆さんが安心して気軽に見られるサイトにすることで自分自身の振り返りに加え、被害者・加害者になっている友人に「それってデートDVじゃない？」と指摘し合える風潮をつくれたらと思います。玉石混交の情報が氾濫する現代は、健康に関する正しい知識を調べ、理解し、活用するヘルスリテラシーが不可欠です。デートDVを見過ごす、自尊感情や他尊感情が低いまま大人になり、人間関係や家庭での問題につながる可能性もあります。このサイトを通じて、デートDVの情報を提供し、また子どもたちが適切な情報を得るすべを身に付ける場になったらと思います。

Q 看護学部をどう発展させていきたいですか？

A 大学と医療機関の連携を深め、看護職の可能性とやりがいを大きく広げていきます。

地域で活躍できる看護職のプロフェッショナルを育てることが第一です。本学部では入学まもなく病院実習を経験して看護の実際を知り、将来のモデルとなる看護師像を思い描いてもらいます。それが看護を学ぶ上で一番大切な探究心や向上心につながるからです。さらに、ゆくゆくは常磐大学看護学部を臨床研究の場として、卒業生が戻って来られる場所にしたいと考えています。臨床の経験を積み重ねると、看護の技術や効果についてさまざまな発見や成果が得られます。その経験を大学に持ち帰り、研究として体系化する。それを世の中に発信することで看護、医療の発展に役立ち、看護職という仕事への大きなやりがいにもつながります。看護は、人が生まれて死ぬまでのすべての過程に立ち会う深い仕事です。看護職として誇りと自覚を持ち、自らを研鑽していける看護職を本学部から輩出していきたいと考えています。

## 保育者論

子どもの未来を拓く保育者の役割  
幼児教育保育学科 教授 福田 洋子



北野幸子・山下文一・柿沼芳枝 編著  
2019年3月 光生館

新しい時代の保育者に必要な判断力や応用力、活用力を担うことを目的とし、本書では養成教育においてよりアクティブに学ぶ機会が得られるように、工夫しています。第9章「リーダーシップとチーム学校運営」を担当しています。

## 演習・保育内容総論 第2版

子どもと共に学びあう  
幼児教育保育学科 教授 福田 洋子



井上孝之・山崎敦子 編  
2018年12月 みらい

「幼稚園教育要領」等の改訂(定)に合わせて内容を新たにしました。保育実践や子どもの育ちを整理し、保育内容総論の視点で作成しました。第5章3～6節を担当しています。



## Campus schedule

常磐大学&水戸ホーリーホックコラボデー2019  
8/24(土)



18:00 KICK OFF  
東京ヴェルディ戦  
於)ケーズデンキスタジアム水戸

### 大学院

進学説明会  
7/14(日)

### 大学・短大

オープンキャンパス  
7/14(日)・8/3(土)・9/21(土)

### 高校

オープンスクール  
7/23(火)~26(金)

体験入部  
8/8(木)~9(金)

同窓会総会  
8/25(日)

### 智学館

学校見学会  
7/20(土)

オープンスクール  
8/18(日)・9/7(土)

智学館フェスティバル  
9/14(土)~15(日)

### 幼稚園

入園説明会・みんなで遊ぼう  
7/11(木)・9/20(金)・10/15(火)

運動会  
10/5(土)※雨天時 10/6(日)

## 寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。  
[2019年1月~4月受け付け分]

### 諸澤幸雄奨学金制度への募金

#### 団体

558,000円 | 常磐大学2018年度卒業生一同  
215,000円 | 常磐短期大学2018年度卒業生一同  
10,000円 | 短歌の会かりん水戸支部\*

#### 個人

3,000円 | 坂井 知志\*  
32,000円 | 中村 和彦\*

#### 芳名のみ公表

江原 麻子\*  
齋藤 祐輔\*  
早瀬 純子\*  
小宅 祐輔\*

累計金額 103,521,208円

### 見和キャンパス開設50年施設整備事業募金

#### 法人・団体

200,000円 | (株)久信田観光\*

#### 個人

20,000円 | 小柳 武\*  
20,000円 | 富田 恭平\*

#### 芳名のみ公表

内田 和毅\*  
関 いつみ\*  
海老澤 秀揮\*  
久松 雄大\*  
横山 正和\*  
岩間 健一郎\*

累計金額 13,369,140円

### 持続可能社会に向けた地域の環境づくり活動資金

1,000,000円 | (2019年度事業分) (株)常陽銀行\*

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に\*を付しました。

寄付募集の詳細については、  
ホームページでご覧いただけます。

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ  
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

【お電話で】 029-232-2554

【メールで】 kifu@tokiwa.ac.jp

## 皆さまからのご意見大募集!

- ①印象に残った記事とその理由など
- ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を  
メールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する  
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585

茨城県水戸市見和1丁目430-1  
学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、  
抽選で20名様に  
常磐大学オリジナルグッズを  
差し上げます。



常磐大学大学院  
常磐大学  
常磐短期大学



常磐大学高等学校  
智学館中等教育学校  
常磐大学幼稚園



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

## 奨学金奨学生等決定のお知らせ

### 諸澤幸雄奨学金奨学生

2018年度	高校	II種奨学生	2人
	智学館	I種奨学生	1人
2019年度	大学	I種奨学生	10人
		II種奨学生	2人
	短大	II種奨学生	1人

### 外国人学生奨学金奨学生等

2019年度	大学	外国人学生奨学生	2人
		外国人学生授業料減免	5人

### ローズヴィラ水戸奨学金奨学生

2018年度	大学	介護職員初任者研修奨学生	4人
--------	----	--------------	----



常磐大学は平成28年度大学評価の  
結果、(公財)大学基準協会による大学基  
準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)  
短期大学基準協会による第三者評  
価の結果、適格と認定されました。